

コース名		科目名			対象学年		
臨床医学		消化器系Ⅱ			3		
開講学期		科目責任者		副責任者			
2 学期		上野 富雄		河本 博文, 吉田 浩司, 仁科 惣治			
目的							
肝胆膵疾患の病態生理の理解と応用力のある知識の獲得。							
授業到達目標							
1. 肝機能検査項目を機能別に分け、その意義について説明できる。 2. 肝炎ウイルス別にウイルスマーカーを列挙し、各マーカーが何を表しているか説明できる。 3. 肝胆膵疾患の画像検査について個別に説明ができる。 4. 肝硬変の症状、合併症、合併症に対する治療法が説明できる。 5. 非アルコール性脂肪性肝疾患の診断基準と病理像が説明できる。 6. 肝臓の良性腫瘍、悪性腫瘍について頻度の高い順に説明できる。 7. 肝胆膵疾患の腫瘍マーカーについて説明できる。 8. 肝細胞癌の画像診断を挙げ、それぞれの診断特性について説明できる。 9. 食道・静脈瘤の内視鏡所見とその分類が説明できる。 10. 良性の胆膵疾患を列挙し、それぞれの代表的な治療法について説明できる。 11. 悪性の胆膵疾患を列挙し、それぞれの代表的な治療法について説明できる。 12. 胆膵領域の診断と治療のための内視鏡検査について説明できる。 13. 肝胆膵領域の外科的治療について説明できる。 14. 肝胆膵領域の代表的疾患の病理組織が説明できる。 15. 消化器領域で頻繁に出現する医学用語（英語）について full spelling で記載できる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容
1	9/ 3	火	5	講義	仁科	消内	肝腫大（障害）をきたす疾患とその診察方法
2	9/ 3	火	6	講義	仁科	消内	肝機能検査値と腫瘍マーカー
3	9/ 9	月	3	講義	神吉	放診	肝の画像検査（US, CT, MRI, Angio など）
4	9/ 9	月	4	講義	仁科	消内	A 型・C 型・E 型肝炎（診断・治療・予後）
5	9/17	火	1	講義	仁科	消内	伝染性単核球症，肝炎ウイルス以外の感染症（肝膿瘍，肝寄生虫症）
6	9/17	火	2	講義	仁科	消内	急性肝不全（含，劇症肝炎の診断と治療）
7	10/ 7	月	5	講義	川中	総内 2	B 型肝炎（診断・治療・予後・再活性化）
8	10/ 7	月	6	講義	川中	総内 2	自己免疫性肝疾患
9	10/10	木	4	講義	川中	総内 2	非アルコール性脂肪性肝疾患
10	10/10	木	5	講義	川中	総内 2	アルコール性肝疾患
11	10/15	火	5	講義	佐々木恭	消内	原発性肝癌以外の肝腫瘍（血管腫・肝のう胞・FNH・転移性腫瘍）
12	10/15	火	6	講義	吉岡奈	消内	原発性肝癌の診断と治療
13	10/22	火	3	講義	仁科	消内	慢性肝不全①（肝硬変の成因，病態生理）
14	10/22	火	4	講義	仁科	消内	慢性肝不全②（肝硬変の病態生理，治療）
15	10/25	金	5	講義	仁科	消内	薬物性肝障害，代謝性疾患
16	10/25	金	6	講義	仁科	消内	肝疾患のまとめ
17	10/29	火	3	講義	吉岡奈	消内	食道・胃静脈瘤の診断と治療
18	10/29	火	4	講義	河本博	総内 2	胆膵領域の画像診断と内視鏡治療

19	11/ 1	金	5	講義	河瀬智	消内	胆嚢ポリープ、硬化性胆管炎、胆嚢腺筋腫症、胆道出血、胆道ジスキネジー、寄生虫
20	11/ 1	金	6	講義	河瀬智	消内	胆石、胆道感染症（胆管炎・胆嚢炎）
21	11/ 7	木	5	講義	河本博	総内 2	慢性膵炎
22	11/ 7	木	6	講義	河本博	総内 2	先天性膵胆道疾患、急性膵炎、慢性膵炎
23	11/13	水	3	講義	吉田浩	消内	浸潤性膵管癌
24	11/13	水	4	講義	河瀬智	消内	胆道腫瘍（含、閉塞性黄疸）
25	11/19	火	3	講義	吉田浩	消内	嚢胞性膵疾患、膵腫瘍（含、内分泌腫瘍）
26	11/19	火	4	講義	吉田浩	消内	胆膵疾患の診察方法
27	11/21	木	5	講義	秋山隆	病理	肝・胆・膵①：肝の構造と機能、肝炎、肝硬変
28	11/21	木	6	講義	秋山隆	病理	肝・胆・膵②：肝癌、胆管炎、膵癌
29	11/22	金	1	実習	秋山隆	病理	肝・胆・膵実習①：肝硬変+肝癌
30	11/22	金	2	実習	秋山隆	病理	肝・胆・膵実習②：胆嚢炎、胆嚢癌、膵癌
31	11/26	火	3	講義	上野富	消外	肝臓外科① 手術に必要な肝臓の解剖、肝の区分
32	11/26	火	4	講義	上野富	消外	肝臓外科② 肝臓の手術、肝予備能、肝切除量、術前シミュレーション
33	11/29	金	2	講義	上野富	消外	肝臓外科③ 肝切除と手術手技、術後合併症、肝臓癌に対する外科治療
34	11/29	金	3	講義	上野富	消外	肝臓外科④ 実際の症例から学ぼう、肝良性疾患の手術、肝移植
35	12/ 4	水	1	講義	上野富	消外	胆道外科① 胆道の解剖・区分、胆道癌それぞれの特徴、閉塞性黄疸
36	12/ 4	水	2	講義	上野富	消外	胆道外科② 胆道癌の術前評価・準備、肝門部胆管癌の手術と合併症、遠位胆管癌の手術と合併症、十二指腸乳頭部癌の手術と合併症
37	12/ 6	金	4	講義	上野富	消外	胆道外科③ 胆嚢癌の手術と合併症、胆道良性疾患の手術、膵胆管合流異常症
38	12/ 6	金	5	講義	上野富	消外	膵臓外科① 膵臓の解剖・区分、膵臓の機能、膵癌の治療
39	12/11	水	1	講義	上野富	消外	膵臓外科② 膵癌の手術、膵頭十二指腸切除術、恐ろしい合併症である膵液漏、膵手術の合併症の評価法
40	12/11	水	2	講義	上野富	消外	膵臓外科③ 膵尾側切除術とそのバリエーション、膵全摘術、慢性膵炎の手術、その他の膵手術、膵移植

評価方法

[期末試験]100%

[レポート]（病理レポートも場合によっては考慮される場合がある（具体的な割合は決まっていない。））

[評価方法]多肢選択試験、論述・記述試験

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて

病理レポートに関しては、担当者がチェックを行い概略評価を付けて返却する。その概略評価は、期末試験の病理担当分に反映される場合がある。

教科書

ISBN-9784254322606, 内科学, 矢崎 義雄（監修）, 矢崎 義雄（編集）, 伊藤 貞嘉（編集）, 工藤 正俊（編集）, 島本 和明（編集）, 菅野 健太郎（編集）, 須永 真司（編集）, 永井 良三（編集）, 長谷川 好規（編集）, 水澤 英洋（編集）, 山本 一彦（編集）, 伊藤 裕（編集）, 岩本 愛（編集）, 岡 芳知（編集）, 金倉 譲（編集）, 朝倉書店, 2013/06/22

ISBN-9784260047821, 標準外科学 第16版, 北野 正剛（監修）, 坂井 義治（監修）, 田邊 稔（編集）, 池田 徳彦（編集）, 大木 隆生（編集）, 医学書院, 2022/03/01

ISBN-9784524249343, シンプル病理学（改訂第8版）, 笹野 公伸（編集）, 岡田 保典（編集）, 安井 弥（編集）, 南江堂, 2020/07/15

参考書	
ISBN-9784260050425,	標準病理学 第7版, 北川昌伸 監修, 仁木利郎, 小田義直 編集, 医学書院, 2023
ISBN-9784260014212,	肝臓の外科解剖 : 門脈 segmentation に基づく新たな肝区域の考え方, 竜崇正 (編著), 趙明浩 [ほか] (執筆), 医学書院, 2011
ISBN-9784896326123,	病気がみえる Vol.1 消化器, 医療情報科学研究所編, メディックメディア, 2020
ISBN-9784307203944,	臨床・病理原発性肝癌取り扱い規約 第6版補訂版, 日本肝癌研究会編, 金原出版, 2019
ISBN-9784307204262,	臨床・病理胆道癌取り扱い規約 第7版, 日本肝胆膵外科学会編, 金原出版, 2021
ISBN-9780004444811,	膵癌取り扱い規約 第8版, 日本膵臓学会, 金原出版, 2023
ISBN-9784307204408,	肝癌診療ガイドライン 2021年版, 日本肝臓学会編, 金原出版, 2021
ISBN-9784865173239,	エビデンスに基づいた胆道癌診療ガイドライン 改訂第3版, 日本肝胆膵外科学会胆道癌診療ガイドライン作成委員会編, 医学図書出版, 2019
ISBN-9784307204545,	膵癌診療ガイドライン 2022年版 第6版, 日本膵臓学会膵癌診療ガイドライン改訂委員会編, 金原出版, 2022
ISBN-9784865172850,	急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン 2018 : TG18 新基準掲載, 高田忠敬 (編), 医学図書出版, 2018
ISBN-9784307204019,	膵・消化管神経内分泌腫瘍 (NEN) 診療ガイドライン 2019年 第2版, 日本神経内分泌腫瘍研究会膵・消化管神経内分泌腫瘍診療ガイドライン第2版作成委員会編, 金原出版, 2019
ISBN-9784307204200,	急性膵炎診療ガイドライン 2021 第5版, 急性膵炎診療ガイドライン 2021改訂出版委員会編, 金原出版, 2021
ISBN-9784260035378,	IPMN 国際診療ガイドライン 2017年版 : 日本語版, 国際膵臓学会ワーキンググループ著 : 田中雅夫 訳, 医学書院, 2018
ISBN-9784307204378,	大腸癌治療ガイドライン : 医師用 2022年度版, 大腸癌研究会編, 金原出版, 2022
ISBN-9784307204514,	十二指腸癌診療ガイドライン, 十二指腸癌診療ガイドライン作成委員会編, 金原出版, 2021
ISBN-9784524228379,	慢性膵炎診療ガイドライン改訂第3版, 日本消化器病学会編集, 南江堂, 2021
準備学習 (予習・復習等)	
予習 :	消化器の解剖学と生理学を再度勉強しておくこと。このユニットは病態の理解に重点を置いているので、解剖学と生理学の理解なくしては病態の理解が困難となる。30分程度の時間が必要。
復習 :	講義の際に配布された資料を中心に、資料に記載されている内容が自分で理解でき、かつ説明できるようにすること。1時間くらいはその日のうちに復習して理解を深めて欲しい。
講義についての注意事項	
講義に際しては、可能な限り講義の間に理解するように努力すること。このため理解できない、あるいは解りにくい時には積極的な質問を歓迎する。講義中に一旦理解すれば、仮に忘れたとしても再度勉強する際に思い出すのが簡単になるし、理解しやすくなる。講義資料は各教員が最も重要だと思う箇所を抜粋してまとめたものであるから、講義資料に授業中の内容をしっかり書き込み自分なりの講義資料を完成していくことが望ましい。	
病理実習はマルチメディア教室 (M-710) で行う。2年次の病理実習用レポート用紙を準備すること。	
昨年度からの変更点・改善項目	
(変更なし)	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について	
この科目は、主としてコンピテンスの『Ⅲ. 医学と関連領域の知識』と『Ⅳ. 医療の実践』の達成に向けて設定されている。4年次学修科目の症候論や臨床病態論の他、臨床実習開始のために必要な医学知識を習得し臨床医科学を理解する。	
ナンバリング	
DPDI312	